

FM-HANAKO
 マイク片手に
 どこでも行きます
「地域のパートナー」



「もりかど探偵団」では、リポーターが守口市、門真市を駆け回っています。情報をくださる皆さんも団員。皆さんの声を聞かせてくださいね！

中庭浩史(左)・乾晴美(右)リポーター



市内イベントにいつてきまーす！臨場感あふれるレポートを心がけ、皆さんの声を届けます。

林谷子リポーター

声だけじゃもったいない
番組ブログ
 番組・スタッフブログには守口市、門真市の話題が満載。番組でのお店紹介や、地域の話題も写真付きで掲載。

Facebook Twitter
 FM-HANAKO ホームページ



パーソナリティの笑顔があふれるスタジオ内。ラジオを通してのコミュニケーションを楽しんでもらいたいです。リポーターも旬な情報を逃さないために市内を走り回ります。



平成26年10月には文化センター1階にサテライトスタジオがオープン。番組の様子を間近に見られるようになりました。また毎年、守口市民まつり会場内から公開生放送をお送りしています。



平成5年7月に地域の皆さんに役立つ情報の発信を目的として金田町に放送スタジオを構えました。送信出力は「1W」と小さいものでした。



FM-HANAKO

平成7年守口文化センターの地下に放送スタジオを移転



情報 報発信ツールとして、インターネットをはじめとした多種多様な媒体が拡がりを見せる現在、ラジオは身近な存在でありながら、聴く機会が減ってきているのが現実です。

そんな中、地域密着型の放送局FM-HANAKOでは皆さんが興味を持って聴いてもらえるよう、魅力ある内容の番組づくりに力を注いでいます。

全国初
災害対応
地域活性化を目的に開局

「FM-HANAKO」の愛称は、当時、市が掲げていた緑あふれ花かおる文化都市守口をめぐらしてからのイメージと、多くの人に親しみを持ってもらえるように「花子」HANA K O」と命名。

開局後間もない平成7年1月の阪神淡路大震災の発生を受けて、災害時の情報提供のツールとして大きくクローズアップされました。同年には守口市駅前の守口文化センターの地下に放送スタジオを移転。その後、法制度が見直され、送信出力が10Wになり市内全域で聴取できるようになりました。

番組へのゲスト出演や、街頭でのレポート、取材、電話出演のコーナーなどを含めると、出演してもらった市民の皆さんは1万人を優に超え、地域の話題を始めたとしたさまざまな内容の放送をしてきました。

また、このコミュニティ放送局を持つ大きな利点は、災害情報をはじめとした地域に密着した緊急放送に対応できることです。

近年、南海トラフ地震や上町断層帯を震源とする大

阪直下型地震が予測され、ゲリラ豪雨などによる洪水などの水害も懸念されています。

万が一、それらの災害が発生した際には、熊本地震発生時でも証明されたようにラジオの有効性が、がぜん注目され、今、欲しい身近な情報をタイムリーに発信できる地域放送局は守口市にとって、市民の安全安心に大きな役割を果たすものになります。

開局から四半世紀がたち、ラジオを含むメディアの形態や環境も多岐にわたり、大きな過度期を迎えています。

30周年に向けた、これからの5年間は、番組の内容の充実だけにとどまらず、新たな試みに挑戦し、改革に取り組み「FM-HANAKO」として、市民の皆さんに愛され、必要とされる放送局を目指します。



25時間生放送
7月20日(金) 20:00 ~ 21日(土) 21:00

FM-HANAKOの現在のパーソナリティだけでなく懐かしのパーソナリティも登場。普段では聴けないパーソナリティのコラボレーションをお楽しみください。

番組ではあなたからのメッセージも募集
 ▽25年前、何をしていましたか▽25年間どのように過ごしましたか
 ▽FM-HANAKOの思い出、など。また、番組プレゼントもあります。
 25時間番組へのリクエスト・メッセージお待ちしております。

もしもの時は 緊急時のさまざまな情報を受け発信 FM-HANAKO 82.4MHz

<p>J-アラート全国瞬時警報システム 災害や有事関連の情報など、瞬時に地方公共団体に伝達するとともに、市民へ緊急情報を伝達するシステム</p>	<p>緊急情報放送 守口市門真市消防組合消防本部の協力により、24時間体制で、防災情報をいち早く市民に放送するシステムを運用</p>
<p>緊急地震速報 最大震度5以上で、守口市、門真市が震度4以上と予測される場合にお知らせ</p>	<p>安まちメール ひったくりや子どもの被害など「防犯発生情報」などの放送。 月～金 17:05 ごろ、土・日 13:17 ごろ</p>



FM-HANAKO 専用ラジオ
 事務所にて販売中
 1,500円

平成17年にパナソニック本社送信所内に大規模災害時仮設スタジオ設備配置。